

2015 年度春学期 授 業 評 価 報 告

科 目 区 分 名	食物科学専攻 科目
-----------	-----------

アンケート結果、今後の改善、その他特記事項（授業方法の工夫等）についての総評

食物科学専攻科目のアンケート結果から、評定平均値を全学の評定平均値と比較すると、知的好奇心が刺激されましたかという問に対して 3.81（全学 4.05%）で少し低かった。教員が、教材や課題を工夫する等によって学生の知的好奇心を刺激するような授業を推進することが望まれる。また、授業時間外の学習時間（時間換算期待値 h/w）が 0.85 で全学 0.69 に対して長い、昨年度（0.89）よりも少し時間が短くなった。今後とも授業時間外の学習に力を注ぐように指導を続けることが必要である。

DWCLA10 選択率に関しては、全学選択率と比較して分析力（36.2%、全学 31.8%）と自己管理能力（15.3%、全学 10.4%）が高いことが特徴的であった。しかし、創造力は 11.3%（全学 18.6%）、自己実現力は 6.2% で低い（全学 10.1%）。今後、科目にもよるが授業方法の工夫等で改善すべき課題であると言える。

上記の枠内に収まる範囲内でご記入ください。

教育・研究推進センター